

平成25年第5回

荒川区教育委員会定例会

平成25年3月8日

於)ムーブ町屋 ミニギャラリー

荒川区教育委員会

平成25年荒川区教育委員会第5回定例会

1 日 時	平成25年3月8日	午後5時00分
2 場 所	ムーブ町屋 ミニギャラリー	
3 出席委員	委 員 長 委 員 教 育 長	青 山 侑 高 田 昭 仁 川 寄 祐 弘
4 欠席委員	委員長職務代理者 委 員	高 野 照 夫 小 林 敦 子
5 出席職員	教 育 部 長 教 育 総 務 課 長 教 育 施 設 課 長 社 会 教 育 課 長 社 会 体 育 課 長 指 導 室 長 南 千 住 図 書 館 長 書 記 書 記 書 記 書 記	谷 嶋 弘 佐 藤 泰 祥 丹 雅 敏 山 本 吉 毅 泉 谷 清 文 武 井 勝 久 小 堀 明 美 瀬 下 清 大 谷 実 湯 田 道 徳 渡 部 由 香

(1) 報告事項

ア 平成24年度荒川区教職員表彰について

イ 奥の細道矢立初めの地子ども俳句相撲大会結果報告について

(2) その他

委員長 ただいまから、荒川区教育委員会第5回定例会を開催します。

出席委員は、本日3名出席でございます。

会議録の署名委員は、高田委員及び川崙委員にお願いします。

教育長、あいさつをお願いします。

教育長 本日の、審議よろしくお願いたします。

委員長 12月14日開催の第23回定例会の会議録が机上に配付をされております。次回の定例会で承認についてお諮りしますので、次回までに確認をして、何かお気づきの点があれば事務局まで連絡をお願いします。

それでは、本日の議事日程に従って議事を進めます。

本日は、報告案件が2件あります。

初めに、「平成24年度荒川区教職員表彰について」説明をお願いします。

教育総務課長 それでは、「平成24年度荒川区教職員表彰について」御説明します。

骨子でございます。平成24年度荒川区教職員表彰の受賞者及び表彰式の日程について報告するものでございます。

日時でございますが、平成25年3月11日月曜日、15時30分よりサンパール荒川5階の第7集会室で実施するものでございます。

受賞者につきましては、個人の部で9人、団体の部で1件、合計10件でございます。

表彰式の日程でございますけれども、15時30分から表彰式個人の部、団体の部を実施しまして、15時45分から記念撮影、15時50分から懇談会という形で、16時20分閉会予定でございます。

参加者でございますが、教育長並びに主催の教育委員会の担当で対応をさせていただきます。

1枚めくっていただきまして、平成24年度の教職員表彰被表彰者一覧でございます。個人の部としまして、1番の瑞光小学校の大野主任教諭でございます。こちらにつきましては、教科指導（学力向上）などにおいて表彰をするものでございます。

2番の峡田小学校の奥田主任教諭でございます。こちらは特別活動（児童会活動「委員会活動」）の分類で表彰するものでございます。

3番の第二日暮里小学校の沼田主任教諭でございます。こちらは交流教育（地域とのふれあい教育の推進）という分類でございます。

1枚おめくりいただきまして、4番の第五中学校の西村主幹教諭でございます。こちらにつきましては教科指導（国語）、特別活動（地域清掃活動）の分類でございます。

5番の第九中学校の村井主幹教諭でございます。こちらにつきましては夜間学級ということで、夜間学級の業務等について貢献したものでございます。

続いて1枚おめくりいただきまして、6番の原中学校の樋口主任教諭でございます。こちらにつきましましては教科指導（保健体育）ということ、特別活動（女子バレーボール部の顧問）という形で分類をさせていただいております。

続きまして、7番目の原中学校の飯島スクールカウンセラーでございます。こちらにつきましましては、教育相談、特別支援教育の分類で表彰をさせていただきます。

また、8番の東日暮里幼稚園の新井教諭でございます。こちらは教科指導ということで、幼児教育の分類でございます。

9番目は、汐入こども園の原田看護師でございます。こちらにつきましましては、園児の健康管理ということで分類をさせていただきました。

以上、個人の部につきましましては9人でございます。

最後に団体の部でございます。団体名が南千住第二中学校ということで、代表が伊藤錦之助教諭、分類につきましましては地域連携ということで、こちらにつきましましては、JRC委員会、あるいはレスキュー部の活動ということで、地域と一体となってさまざまな事業をしたということで、地域貢献という形で表彰をするものでございます。構成員につきましましては、齊藤校長以下学校の先生方が主催してございます。

主な実績等につきましましては、記載のとおりでございますので後ほど御参照の方をよろしく願いいたします。

教育総務課長 説明は以上でございます。

委員長 ありがとうございます。

質問等ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 よろしゅうございますか。

では、続いて「奥の細道矢立初めの地子ども俳句相撲大会結果報告について」説明をお願いします。

社会教育課長 「平成24年度奥の細道矢立初めの地子ども俳句相撲大会結果について」、御報告をさせていただきます。

骨子でございます。

平成24年度奥の細道矢立初めの地子ども俳句相撲大会で千秋楽を開催し、横綱・東の大関・西の大関を初めとする各賞を決定したので報告をいたします。

概要でございますが、南千住が奥の細道矢立初めの地であることにちなみ、俳句という日本文化を学びながら、小学生の言語活動の充実を図るために開催しているものでございます。また、結びの地であります岐阜県大垣市の小学生をお招きし、俳句を通して荒川区と大垣市の文化交流

を行うものでもございます。事前選考で選ばれました荒川区内の14チームと大垣市の2チームを加えた16チームが、最終日の千秋楽に進みトーナメントで対戦したものでございます。

日時は、3月2日土曜日午後1時半から4時まで、会場は荒川ふるさと文化館でございます。

審判員でございますが、委員長には俳人の対馬康子先生、それから区俳句連盟会長の佐々木忠利様、大垣市の奥の細道俳句協会の遠藤幹郎様、それから西川区長、川寄教育長、武井指導室長の6名の審判員でございます。

協力団体としましては荒川区俳句連盟、荒川相撲甚句会、素盞雄神社でございます。

応募状況と結果でございますが、まず、応募状況でございますが、応募は227チーム、千秋楽の進出は14チームでございます。

千秋楽の結果といたしましては、横綱以下から殊勲賞まででございます。横綱は青小花で大垣市立青墓小学校4年生、西田千紗さんと久保綾乃さんのチーム、東の大関は準優勝という形でございますが、UAで第三日暮里小学校4年生の肥後羽蘭さんと三木杏珠さんのチーム。西の大関はLegend fairyで第一日暮里小学校6年生、内藤亜美さん、八木静香さん、関脇につきましては、北斗七星、汐入小学校5年生、これは兄弟でございますが大場颯斗君と大場菜さん、小結は双子山で大垣市立西小学校1年生の関谷晃介さん、関谷泉吹さん、技能賞、ピーチ&ラズベリーで瑞光小学校6年、原琴乃さん、藤木彩慧さん、敢闘賞については龍で汐入東小学校5年、江刺拓未さん、伊藤朋祐さん、殊勲賞は雛桜で第三日暮里小学校4年生、これは一部訂正をさせていただきますが、日野雛さんと、櫻井かおりさんの2名でございます。

今後の予定でございますが、荒川ふるさと文化館ホームページ、それから区報ジュニア5月号で報告いたします。

添付資料といたしまして、パンフレットと当日のプログラム、それから子供たちがつくってくれました俳句について載せたものをお配りしてございますので、御覧をいただければというふうに思います。

今年度の状況ですけれども、昨年、一昨年と震災の関係で中止をしておりましたが、2年前に開催したときには、実は荒川区内では4校25チームの応募でしたが、今年度は12校、227チームからの応募で、非常に区内で今、小学校で取り組みをしていただいている数が増えているなというふうに感じております。

報告は以上でございます。よろしくお願いいたします。

委員長 ありがとうございます。

質問等ございますか。

高田委員 これは1チームで2つ句がありましたか。これを持って出てくると。

社会教育課長 はい。本人たちが。時間がないということで、一度読み上げて、審査員6名の方

と、会場に御参加いただいた方にうちわを持っていただいて、会場全体で東と西どっちが多いかということでやって、それから審査員の6票で計7票で4、3になるような形で審査をさせていただきました、トーナメント方式で行っていただきました。

委員長 厳しいですね。「はるくれば わたしせんぱい うれしいな」とかね。

教育長 いいですね。

委員長 非常にわかりやすくいいですね。気持ちがあらわれている。

教育長 本当にすばらしい文章で。

委員長 「あいたいな 6年生に またいつか」とかね。こういう俳句の形で気持ちを表現するという、そういう練習をしていくというのすごくいいですね。

社会教育課長 準決勝で破れてしまったのですけれども、11ページにあります双子山さんという小学校1年生の双子の最初の句が、「はるかぜに のってとうきょう ぼくさんじょう」というのは、非常に審査員の先生方からは評価が高かったという。本当にその当時大垣から。大垣の子なので、「はるかぜに のってとうきょう ぼくさんじょう」というのが。

委員長 大垣の子なのでですね。

教育長 だから、「かえるさん」も評価していますね。

社会教育課長 この4つ目の句ですけれども、「かえるさん ネバネバするけど ちょっとすき」。

委員長 この「ちょっとすき」というのはいいですね。

社会教育課長 1年生の双子の男の子で、エントリーの名前も「双子山」。やはりまだ1年生なので、上の子供たちのトーナメントで上がっていくと、やはりちょっと……。非常にかわいい句ではあったのですが、途中で準決勝で破れてしまった。

委員長 なるほど。北斗七星に負けてしまったのですね。

高田委員 なかなか「ネバネバするけど」なんて、東京の子にはわからない。

社会教育課長 ちょっとわからないですね。それで、「ちょっとすき」というのは。

高田委員 対戦相手によって、自分の持ってきたものが8つの句のうちからどれかを……。

社会教育課長 順番に出していただいて。

教育長 大垣から来たというので、つい大垣の方をひいきしてしまいますね。

社会教育課長 前回の優勝も大垣で、実はこの青小花チームが、前回の2年前も優勝しているので、対馬先生から荒川区の子供たちももうちょっと頑張っねと。

委員長 優勝が2回目なのですか。

社会教育課長 はい。間は2年あいていますが。

高田委員 それは何ページに書いてあるの。

社会教育課長 18ページです。

高田委員 青墓小学校。

教育総務課長 大垣市の子供たちは、この8つくらいの句をいつも考えてきていたのです。荒川区の子供たちは、以前は2つとか3つで上がっているんですけども、また同じ句で勝負をしてきたということがありました。今回、こう見ますと荒川区の子供たちも同じように8つつくってきたというところで、すごく荒川区の子供たちも上手になっているのかなということを、各句を見て感じるすることができます。

教育長 この審判員の佐々木忠利さんは、各小学校を全部回ってくださっているのです。それで、私に三日と瑞光小の取り組みがすばらしいと、子供たちの取り組みがすばらしいという感想をいただきました。学校がしっかりしていますねという。

教育総務課長 敗者復活戦というのはないのですか。

社会教育課長 ちょっとかわいそうなのは、1回戦で負けてしまうと1句ずつしか張ってもらえない。これを渡してあるので、つくった子は全部、参加者のやつは手元に行くのですけれども、言えるのは1句ずつなので、1句だけ言って終わってしまうということもある。

教育長 でも、本当にレベル高いですね、これは。この中の皆さんは本当に。

委員長 いいですね、こういう俳句大会は。

高田委員 これは、もう何回目になるのですか。

社会教育課長 第5回ですけども、実際には2回抜けているので3回しかやっていない。

教育総務課長 震災があったときにこちらでできなかったものですから、そこが中止になってございます。別途、大垣にはまたこちらから11月に行くという形になってございます。

委員長 両方で行ったり来たりしているわけですか。

教育総務課長 そうです。

委員長 それはいいですね。大垣市と友好都市なのですか。奥の細道の行事なのですね。でも、そういうのもいいですね。

教育長 今度、シンポジウムをやるのでしょうか。奥の細道の……。

教育総務課長 大垣だけではなくてサミットを。

社会教育課長 サミットを。26年に「奥の細道サミット」を荒川区でやりますので、そのときに向けてシンポジウムとかそういうことも。来年が1年前なので、プレなので何かやろうということで今、企画をしています。本番は26年度です。

委員長 奥の細道は、荒川のイメージにいいのではないですか。

教育長 本当は、松尾芭蕉は足立区でなくて、素盞雄から行ったのだと一文入れて……。

社会教育課長 この間も、区長さんがそういう話をされていました。

教育長 多分、旅立ちの地は荒川だという。

委員長 では、続いて3月から5月までの教育委員会関係主要行事については、配付資料のとおりですけれども、これに関して何かありますか。

教育総務課長 それでは、教育総務課長の私の方から。

教育委員会の日程でございますけれども、その他の予定のところでございますが、3月19日が中学校の卒業式、3月21日が小学校の卒業式でございます。本日は御案内を差し上げてございますので、委員の皆さんはよろしく願いをいたします。

それから、もう1枚御手元の方に、平成25年度教育政策連絡会の開催についてという東京都の教育長からの御案内の書式があらうかと思っておりますけれども、こちらは大変恐縮でございますけれども、開催日が4月12日ということになってございまして、午後2時から4時までとなっておりますので、この日は区の方の定例教育委員会と重なってしまっているということで、大変恐縮でございますけれども、今回は欠席という形になりますので、よろしく願いいたします。

私の方からは以上でございます。

委員長 予定の案件は以上ですけれども、事務局から連絡事項等がありますか。いいですか。

教育総務課長 ありません。

委員長 ほかに何かございますか。

なければ、以上で教育委員会第5回定例会を閉会します。

了